

第1班

安全・安心

自主防災会で防災訓練  
(課題) 南北 13 kmと広域なので、地域住民の防災能力を高める。

一人暮らしの年寄りの見守りネットワーク  
(課題) あまり人と接触することが嫌いな人との対応

交通安全、特に児童の登下校の見守り  
(課題) 年寄りを中心だったが、維持するため、若い人の援助必要

子供が安心して外で遊べる環境

食の安全に関する恒常的な学習指導（講演会の開催）

清原地区は広大な農地と豊富な農産物を有している。したがって、食育、地産地消の推進を図る。(大型農産物の直売所の設置)

人づくり

人づくり  
(課題) 自治会役員の確保

コミュニティの推進

人づくりは家庭から

清原自治会では、若い世帯が増加し、活性化もできているが、反面、後継者不足で老人世帯が増加してきている。また、土地の売買も増加している。

情報の共有

江川の第2次改修工事が半分終了。事前の打合せより、かなりイメージダウンで不評

条例の効力は

条例の効力は？  
ゴミ(特にアルミ缶)の持ち去りに対する取締り

より良いまちづくりをしていくためには

まちづくりへの意識

市民のまちづくりへの関心が薄い

地域の役員(役職)が重複している。会議のたびに集まるメンバーがほぼ同じ！(1人2～3役位までに)

(地域自治を進める観点から)地域の意見・要望は個人で訴えるのではなく、自治会等団体を経由するルールが必要なのではないか。

地域の環境を守る

資源ごみの回収を集団化する

地元3小学校と1中学校(4校)の児童・生徒が虫の育成をして、自然の森公園のイベントに参加(地区のまちづくりに参加)

公共交通

公共交通がなく、老人等が買物、病院等への不便をきたしている。

駅西地域に行く道路として、JR立体の2箇所しかなく、非常に問題である

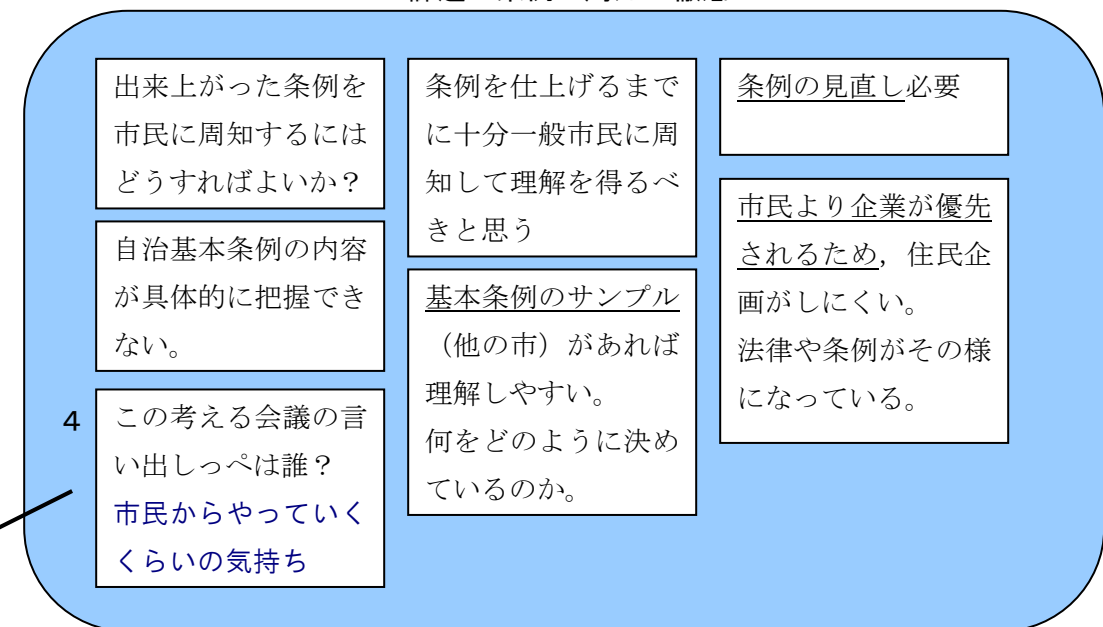
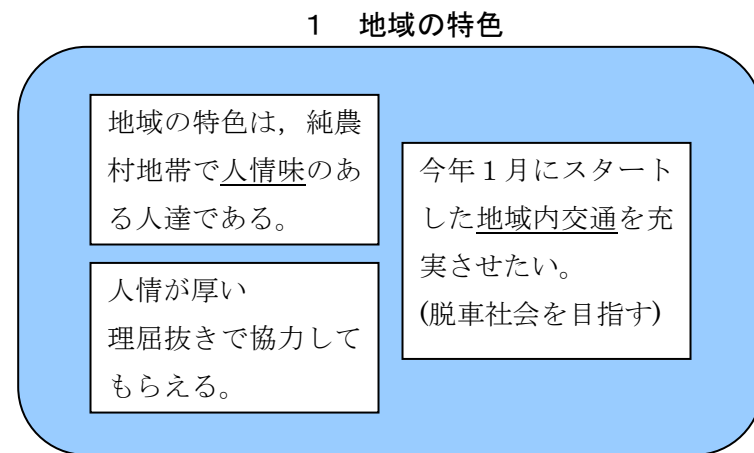
中心市街地から清原地区を結ぶ交通手段現在、非常にバスの運行回数、時間等問題点が多い。

清原地域においても高齢化に伴う交通(買物等)の対策にて、8月1日より本格的に地域内交通(さきがけ号)を運行しますが、市にあまり負担をかけない様に、利用者を増やす方法を考える必要がある(長く継続する為の対策)

地域住民の足の確保(地域内交通)  
(課題) いかにも多くの人に乗ってもらうか

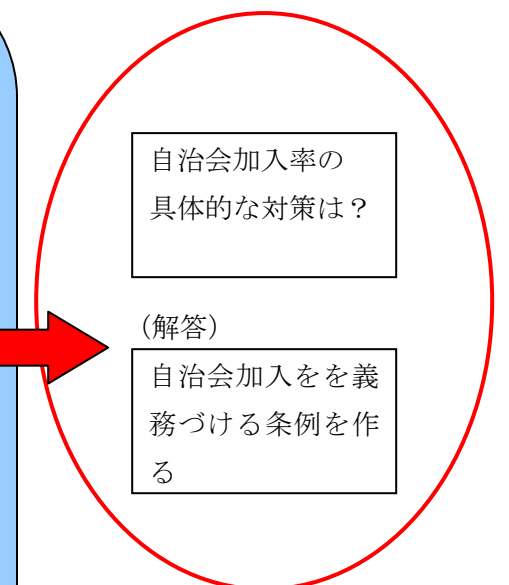
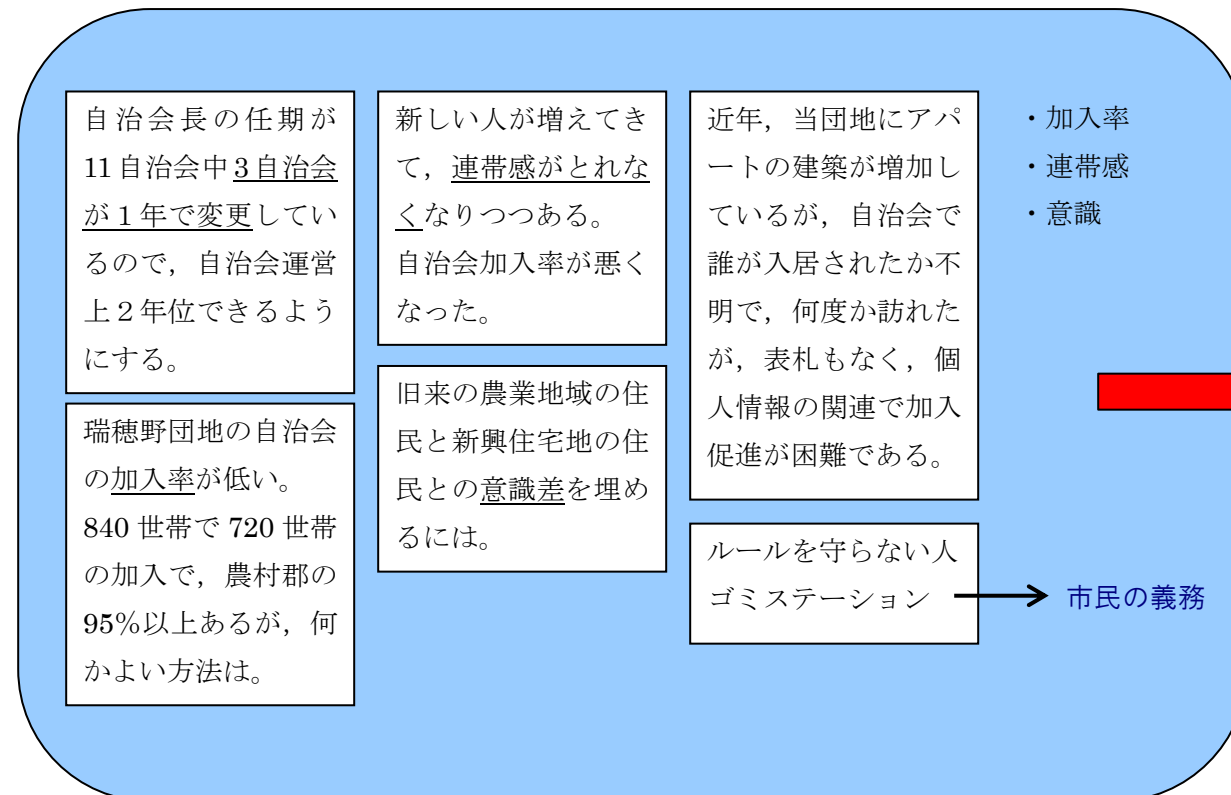
第2班

2 課題 条例の周知の徹底

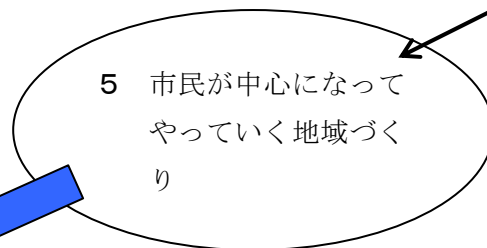
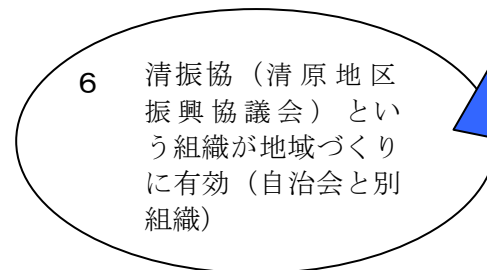
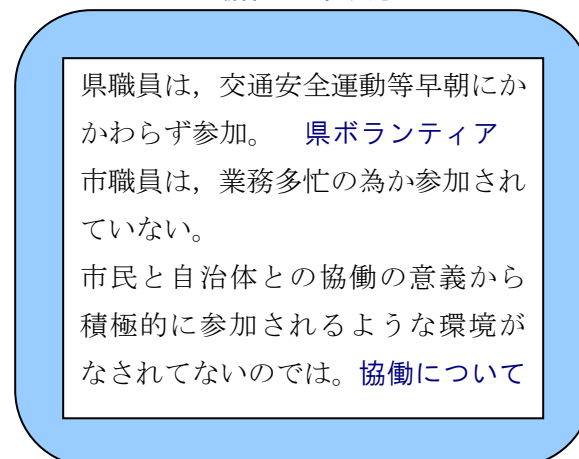


より良いまちづくりをしていくためには

3 課題



7 協働のあり方



第3班

伝統文化

自然に囲まれ、飛山城がある

みずほの森運動公園の利用拡大

竹下町では、年寄りの知恵が宝である

文化の多様性

出身地域の異なる（全国各地・外国人）人達が住んでおり、考えにそれぞれ異なるところがある（清原台地区）

清原地区は外国人が日本の人口密度で全国2位である（良いか悪いか？）

情報の共有化

市民が幸せに暮らせるには？

情報の共有化

地区市民センターの位置不適當  
＝文化活動の停滞

自治基本条例の意見交換の場で出たものを外して、はじめからできたものを意見としているのではないか？

人づくり

地域づくりに若い人に参加してほしい

若い方のまちづくりへの参加の不足

各年代の人々が集まった方がよいのでは！

行政との関わり

市税の見返り極めて少ない

討論会には飲み物を出した方がよい

企業の責任も大切では（地域の中で）

この会議に真に自主的に出席した人は極めて少ない

重要な自治基本条例の審議に生かされない。  
集まって2時間では無理なのではないか？

よ り 良 い ま ち づ く り を し て い く た め に は

ハード面

文化設備ない（例）図書館、文化会館

清原球場、サッカー場等があるが、駐車場がない。どうしてこんな状況で発進したのか？

文化施設乏しいあるのは、公園墓地とゴミ処理場

大学があるが（作新大）学園都市に近いまちとなっていない

地域環境（交通）

交通基盤脆弱（運転できなければ生活できない）

交通が不便

交通渋滞

地域活動の良い点

地域活動が活発

自分たちの街づくり地域交通が発達した

第4班

豊かな自然・保護

公共交通不便な田園地域

3月末に渡河道路開通。次男が家を建てるのに苦慮している。

自然に恵まれた農村地帯

美しいまちづくりがなされている

昔のように「メダカ」や「ホタル」いる地域にしたい。

鬼怒川周辺市内に800mの川幅で清流が30km近く流れるすばらしい自然がある。交通規制のないフルマラソンコースなどができるまちづくりができる。

人間関係が濃密過ぎる

宅地林の保存状態が良く、この状態を維持させていく方法を考えていくべき！

宇都宮は川を軸にした文化を育むべき。  
(川沿いのウォーキングで詩人になれる。)

「さきがけ号」が地域の力で走行している。

イベントの参加数が多くなった

自治会のイベントに対する参加は多くなったが、更に工夫する。活性化する。

交通問題及び諸問題（例：ゴミ）

安全安心に対する意識が高い

市街化調整区域ということで高齢化

交通問題について田舎ゆえ信号機が設置されない。

公共交通機関が弱い

道路の草刈りの際、交通事故の心配をする人が出てくる。

鬼怒川堤防につくられているサイクリングロード等を設置しても管理がなされない。

ゴミ集配所の日程を守られずに困っている。

宇都宮市の地理的条件・特長をもっと生かしていくべきである。

宇都宮市の公共交通網の再構築をすべき

より良いまちづくりをしていくためには

外国人と地域のコミュニケーション

外国人（住民）が地域のルールを守れない。行政か地区自治会がルールを教示すべき

外国人の受け入れがなされていると聞く

自治会では、年配者に気を遣っているが、個人の内的な問題には関われないので、心配されている方々がいる。

権利と義務、運営方法

ボランティアなどを行っている人に対し市民が関心ない。  
(例)学児パトロール

市民が権利のみ主張し、義務を果たさない。(例)給食費滞納

市民が権利だけ言って、義務を果たさない

自治基本条例を考える会議とは、市民・市議会・市職員で構成される会議として設置されたが、条例が出来上がった後も、この市民・市議会・市職員のバランスを守る。意見が集約し、ボランティアで働くのではなく、よりよく市民の意見が吸いあがるようにしてほしい。